

その1 水濁法第5条第1項（有害物質使用）に基づく設置届出書の記載例

(表面)

特 定 施 設
~~指 定 施 設~~
汚 水 発 生 施 設
~~有害物質貯蔵指定施設~~

設 置 (使 用、変 更) 届 出 書

窓口への提出日を記入してください。

年 月 日

(宛先)

大 津 市 長

届出者 住 所

氏 名

(電話番号)

表題及び根拠法令は該当しない事項を二重線で消してください。
不明な場合はそのまま窓口にお持ちください。

(法人にあっては、その名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地)

水質汚濁防止法第5条第1項、~~第2項又は第3項（第6条第1項若しくは第2項又は第7条）~~
滋賀県公害防止条例第21条第1項、~~第2項又は第3項（第22条又は第23条）~~
~~滋賀県琵琶湖の富栄養化の防止に関する条例第8条（第9条）~~
大津市生活環境の保全と増進に関する条例第40条1項、~~第2項又は第3項（第41条又は第42条）~~
の規定により、特定施設（~~指定施設、汚水発生施設、有害物質貯蔵指定施設~~）の設置（~~使用、変更~~）について、次のとおり届け出ます。

記入要領

工場又は事業場の名称		琵琶湖株式会社 大津工場	法人の場合は法人名称、個人の場合は屋号を記載してください。 事業場が複数ある場合は事業場名称も併記してください。
工場又は事業場の所在地		大津市御陵町〇・〇 電話番号 ×××-××××	施設を設置する事業場の所在地、電話番号を記載してください。 (可能な限り住居表示をお願いします。)
法第5条第1項、 県公害防止条例第21条第1項、	特定施設等の種類	65 酸又はアルカリによる表面処理施設 1 基	p.5～11 に記載されている特定施設等の号記号名称及び基数を記載ください。多数の場合は別紙にまとめてください。
	有害物質使用特定施設等の該当の有無	☒ 有 ☐ 無	無の場合は【有害物質を使用しない事業者向】の手引きをご覧ください。
	△特定施設等の構造	別紙1のとおり	別紙1-6に記載してください。
	△特定施設等の設備（有害物質使用特定施設等の場合に限る。）	別紙2のとおり	
	△特定施設等の使用の方法	別紙3のとおり	
	△汚水等の処理の方法	別紙4のとおり	
	△排出水の汚染状態及び量	別紙5のとおり	
	△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり	
第21条第2項、 法第5条第2項、 市条例第40条第2項関係	有害物質使用特定施設等の種類		この範囲の記載、提出は不要です。
	△有害物質使用特定施設等の構造	別紙7のとおり	
	△有害物質使用特定施設等の使用の方法	別紙8のとおり	
	△汚水等の処理の方法	別紙9のとおり	
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり	
	△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙11のとおり	

(裏面)

法第5第1項、 市条例第40条第1項関係	有害物質使用特定施設等又は有害物質貯蔵指定施設の別	☐ 有害物質使用特定施設 ☐ 有害物質貯蔵指定施設	この範囲の記載、提出は不要です。
	△有害物質使用特定施設等又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙12のとおり	
	△有害物質使用特定施設等又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙13のとおり	
	△有害物質使用特定施設等又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙14のとおり	
	△施設において製造され、使用され、もしくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙15のとおり	

- 備考1 特定施設等の種類の欄及び有害物質使用特定施設等の種類の欄には、規則別表第1に掲げる項番号及び名称を記載すること。
- 2 有害物質使用特定施設等の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設等に該当しない場合には、別紙2を提出することを要しない。
- 3 有害物質使用特定施設等又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。
- 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
- 5 ※印の欄には、記載しないこと。
- 6 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 7 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A列4番とすること。
- 8 氏名を記載し、押印することに代えて、署名することができる。

添付書類	1) 付近の見取り図（設置、使用の届出のみ）（周辺100メートル程度のもの） 2) 工場等の敷地内の建物配置図 （特定施設等及び污水处理施設を赤色で囲み、用水経路及び排水（污水・雨水）経路を明示すること） 3) 特定施設等の構造図（カタログ、写真でよいが、型式、構造、主要寸法を明示すること） 4) 污水等の処理施設の構造図（フローシート、設計仕様書、構造、主要寸法を明示すること） 5) 作業工程図（特定施設等の使用箇所を明示し、作業工程時間を記入すること） 6) 参考事項（業種、主要製品、従業員数、担当者名、今回の届出の概要等を記入すること。）
------	---

(別紙1)
特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号	大津工場 酸処理槽 No.1	施設ごとに工場等における番号を記載ください。複数ある場合は1列につき1基の内容を記載ください。足りない場合は列を増やすか、別紙1の2、3・・・を作成ください。
特定施設等番号及び名称	65 酸又はアルカリによる表面処理施設1基(有害物質使用)	表紙の内容を記載ください。 有害物質使用の旨も記載ください。
型 式	浸漬式(〇〇社製 CM-5)	施設の型式番号がある場合は記載ください。
構 造	ステンレス製、内部を塩化ビニールライニング (構造図は資料3)のとおり)	施設の構造を記載ください。 添付資料3)に図面等を添付ください。
主 要 寸 法	酸浸漬槽 1m×1m×1.5m×1槽	施設の主要寸法を記載ください。
能 力	ねじ 3,000 個/日	各施設ごとの公称能力を記載ください。 規模要件がある施設等については、その規模を記載してください。
配 置	大津工場 A棟1F (資料2)のとおり)	配置図は添付書類2)に示してください。
設 置 年 月 日	年 月 日	既設のものについて記載下さい
工 事 着 手 予 定 年 月 日	H25 年 9 月 30 日	当該施設の工事着手予定年月日を記載下さい。※届出はこの日の60日前までに必要です。
工 事 完 成 予 定 年 月 日	H25 年 11 月 23 日	当該施設の工事完成予定年月日を記載下さい。
使 用 開 始 予 定 年 月 日	H25 年 12 月 1 日	当該施設の使用開始予定年月日を記載下さい。
その他参考となるべき事項	床面は厚さ100mmのコンクリート 施設周囲には側溝を設け、流出を防止	有害物質使用特定施設の場合は、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。 防液堤等については、可能な場合には容量を記載すること。
※市事業場施設番号		

備考1 配置の欄には、当該特定施設等及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

2 その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設等有害物質使用特定施設等に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

(別紙2)
特定施設の設備

工場又は事業場における施設番号	大津工場 酸処理槽 No.1	施設ごとに工場等における番号を記載ください。複数ある場合は1列につき1基の内容を記載ください。足りない場合は列を増やすか、別紙1の2、3・・・を作成ください。
特定施設等番号及び名称	65 酸又はアルカリによる表面処理施設1基(有害物質使用)	表紙の内容を記載ください。 有害物質使用の旨も記載ください。
設備	地上配管 排水溝 ため枡	有害物質使用特定施設に接続する配管や周囲の構造物について記載してください。
構造	配管 ステンレス製 排水溝、ため枡 コンクリート製、厚さ50mm	上記設備について個別に素材等を記載ください。 検知設備がある場合はその旨を記載ください。
主要寸法	配管 φ100mm×30m 排水溝 幅 300mm×深さ200mm×10m ため枡 500mm×500mm×400mm	上記設備について個別に寸法等を記載ください。
配置	大津工場 A棟1F (資料2)のとおり)	配置図は添付書類2)に示してください。 地下にある場合はその旨も記載ください。
設置年月日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	H25年9月30日	当該施設の工事着手予定年月日を記載下さい。 ※届出はこの日の60日前までに必要です。
工事完成予定年月日	H25年11月23日	当該施設の工事完成予定年月日を記載下さい。
使用開始予定年月日	H25年12月1日	当該施設の使用開始予定年月日を記載下さい。
その他参考となるべき事項	資料5) (フロー図) に配置等を記載。	添付資料5)の作業工程図に、配置や材質、構造等を記載ください。 配管については地下配管(トレンチ)、地下配管(埋設)等のケースも考えられます。 トレンチの場合はトレンチの構造等も記載ください。 有害物質を含む水が流れない場合は、構造等に関する基準が適用されないなので、その旨を記載ください。

備考1 有害物質使用特定施設等に該当しない場合には、本様式を提出することを要しない。
2 配置の欄には、当該特定施設等の設備の配置を記載すること。

(別紙3)

特定施設使用の方法

工場又は事業場における施設番号		大津工場 酸処理槽 No.1		別紙2の内容を記載下さい。
特定施設等項番号及び名称		65 酸又はアルカリによる表面処理施設 1 基（有害物質使用）		表紙の内容を記載ください。 有害物質使用の旨も記載ください。
設 置 場 所		大津工場 A 棟 1 F （資料 2）のとおり）		配置図は添付書類 2)に示してください。 地下にある場合はその旨も記載ください。
操 業 の 系 統		酸処理を行う （詳細は資料 5）のとおり）		添付資料 5）に操業の系統（フロー図等） を記載ください。特定施設の使用箇所が わかるように明記ください。
使 用 時 間 間 隔		週に 2，3 日 時間帯は不規則		1 日のうち施設を使用する時間帯を記載 ください。
1 日 当 た り の 使 用 時 間		4 時間		1 日あたりの使用時間を記載ください。
使 用 の 季 節 的 変 動		なし		使用時間、方法に季節変動がある場合は 記載ください。
原材料（消耗資材を含む。） の 種 類 、 使 用 方 法 及 び 1 日 当 た り の 使 用 量		前処理工程：△△（1 日××L） 酸処理工程： 塩酸 硝酸 （各 5%溶液） 1 ヶ月ごとに全量交換 （1.5m3）		施設で使用する原料、薬品等の種類、使 用方法、1 日の使用料を記載ください。
汚 水 等 の 汚 染 状 態	種 類 ・ 項 目	通 常	最 大	施設から排出される汚水等の水質の通常 の値及び最大値を記載ください。
	p H	3-4	2	
	BOD (mg/L)	50	70	
	COD (mg/L)	50	70	
	SS (mg/L)	10	70	
	油分 (mg/L)	10	70	
汚 水 等 の 量 (m ³ /日)		通 常	最 大	施設から排出される汚水等の 1 日あたりの 通常量及び最大量を記載ください。
		なし	1.5	
その他参考となるべき事項		特定施設で有害物質（硝酸）使用。		特定施設で使用している有害物質の種類 を記載ください。

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

(別紙4)

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号	大津工場 処理施設 (中和処理)				処理施設を識別できる番号や内容を記載ください。	
処理施設の設置場所	大津工場 A 棟 地下 (資料2参照)				処理施設等のある場所を具体的に記載ください。	
設置年月日	H23 年〇月×日				既設排水処理施設の設置年月日を記載ください。	
工事着手予定年月日	年 月 日				処理施設の新設又は変更工事の着手予定完成予定、使用開始予定年月日を記載ください。	
工事完成予定年月日	年 月 日					
使用開始予定年月日	年 月 日					
種類及び型式	中和槽 ○○社製 ×—○○				処理施設の種類、型式等を記載ください。	
構造	PP 製 1 槽式				施設の構造材料等を記載ください。	
主要寸法	〇m×〇m×〇m				処理施設の各部の大きさを記載ください。	
能力	100L/時間				時間当たり又は 1 日あたりの処理できる水量を記載ください。	
処理の方式	アルカリ (NaOH 溶液) 添加中和				処理方式について記載ください。	
処理の系統	別紙のとおり				処理に関する工程を記載ください。(別紙で説明可)	
集水及び導水の方法	別紙のとおり (施設からステンレス配管で集水)				特定施設やその他施設からの汚水等の処理施設に至る経路等を記載ください。	
使用時間間隔	1 月に 1 度程度				1 日のうち処理施設を使用する時間帯を記載ください。	
1 日当たりの使用時間	稼動時は 24 時間				処理施設の 1 日あたりの使用時間を記載ください。	
使用の季節変動	なし				処理施設の使用時間、使用方法に既設変動がある場合はその状況を記載ください。	
消耗資材の 1 日当たりの用途別使用量	中和処理 NaOH (10%) ○〇L/月				汚水等の処理に要する薬品等の 1 日当たりの使用量を用途別に記載ください。	
汚水等の汚染状態	種類・項目	通 常		最 大		処理前と処理後の水質の通常値及び最大値、並びに汚水等の 1 日の通常量及び最大の量について記載ください。 量については、公共用水域への放流量を記載し、下水道法流量をカッコ内に記載してください。
		処理前	処理後	処理前	処理後	
	pH	3-4	7-8	2	7-8	
	BOD (mg/L)	50	50	70	70	
	COD (mg/L)	50	50	70	70	
	SS (mg/L)	10	10	70	70	
油分 (mg/L)	10	10	70	70		
汚水等の量 (m ³ /日)	なし	なし	0(1.5)	0(1.5)		
残さの種類、1 月間の種類別生成量及び処理方法	中和槽残渣 1kg/月 産廃処理業者 (○○社) に委託処理				汚水等の処理によって生じる残渣の 1 ヶ月 (1 日) の種類別生成量及びその処理方法を記載ください。残渣の処理方法について、業者等に委託する場合、委託先の処理業者名を記載ください。	
排水の排出方法	公共下水道 (枡 1) に接続				排水口の位置は別図に記載ください。(排出先も記載のこと) ※別図には排水口の総数と () 内には雨水専用の数を記載ください。	
その他参考となるべき事項	酸処理槽 No.1 排水のみ処理を行う。トイレ・手洗いはそのまま下水道接続。				当該処理施設の処理対象としている特定 (届出) 施設の「工場又は事業場における施設番号」等を記載ください。	

備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

2 排水の排出方法の欄には、排水口の位置及び数ならびに排出先を含め記載すること。

(別紙5)

排水に係る排水の汚染状態及び量

工場又は事業場における排水口番号		公共下水道(枅1)		雨水 No.1	工場・事業場の敷地境界における工場・事業場排水の排水口の名称又は番号を記載ください。(添付図面と同一の番号、名称を記載ください。)
排水の汚染状態	種類・項目	通常	最大		排水の水質について通常及び排水の量を排水口毎に記載すること。水質項目は、規制項目のうち、当該事業場に関係する項目とする。項目が多い場合は、別表を作成し、関係する項目に関してすべて記載すること。
	pH	7-8	7-8		
	BOD (mg/L)	50	50		
	COD (mg/L)	50	50	--	
	SS (mg/L)	10	10		
	油分 (mg/L)	10	10		
	T-N	5	5		
	T-P	0.1	0.1		
排水の量 (m ³ /日)		通常	最大		1日の排水量の通常値、最大値について排水口毎に記載すること。公共用水域への放流量を記載し、下水道放流量をかつこ内に記載してください。 雨水については記載不要です。
		0(15)	0(25)	--	
その他参考となるべき事項					

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

※排水の汚染状態の水質の項目(規制項目)は次のとおりです。

生活環境項目	健康項目
・水素イオン濃度(pH) ・生物化学的酸素要求量(BOD) ・化学的酸素要求量(COD) ・浮遊物質(SS) ・ノルマルヘキサン抽出物質含有量(油分) ・燐含有量(T-P) ・窒素含有量(T-N) ・フェノール類含有量 ・銅含有量(Cu) ・亜鉛含有量(Zn) ・溶解性鉄含有量(S-Fe) ・溶解性マンガン含有量(S-Mn) ・クロム含有量(T-Cr) ・大腸菌群数(E-coli) ※1 ・アンチモン含有量(Sb)	・カドミウム及びその化合物(Cd) ・シアン化合物(CN) ・有機燐化合物 (パラチオン、メチルパラチオン、メチルジメトン、及びEPNに限る) ・鉛及びその化合物(Pb) ・六価クロム(Cr⁶⁺) ・砒素及びその化合物(As) ・水銀及びアルキル水銀その他の化合物(T-Hg) ・アルキル水銀化合物(R-Hg) ・ポリ塩化ビフェニル(PCB) ・トリクロロエチレン(TCE) ・テトラクロロエチレン(PCE) ・四塩化炭素 ・ジクロロメタン ・1,2-ジクロロエタン ・1,1,1-トリクロロエタン ・1,1,2-トリクロロエタン ・1,1-ジクロロエチレン ・cis-1,2-ジクロロエチレン ・1,3-ジクロロプロペン ・チウラム ・シマジン(CAT) ・チオベンカルブ(ベンチオカーブ) ・ベンゼン ・セレン及びその化合物(Se) ・ほう素含有量(B) ・ふっ素含有量(F) ・硝酸性窒素・亜硝酸性窒素・アンモニア性窒素 ・1,4-ジオキサン
備考 単位は大腸菌群数:個/cm ³ 、 その他の項目(pHを除く):mg/L	
※1 令和7年4月1日以降は大腸菌数 (単位はCFU(コロニー形成単位)/100mL)	

(別紙6)

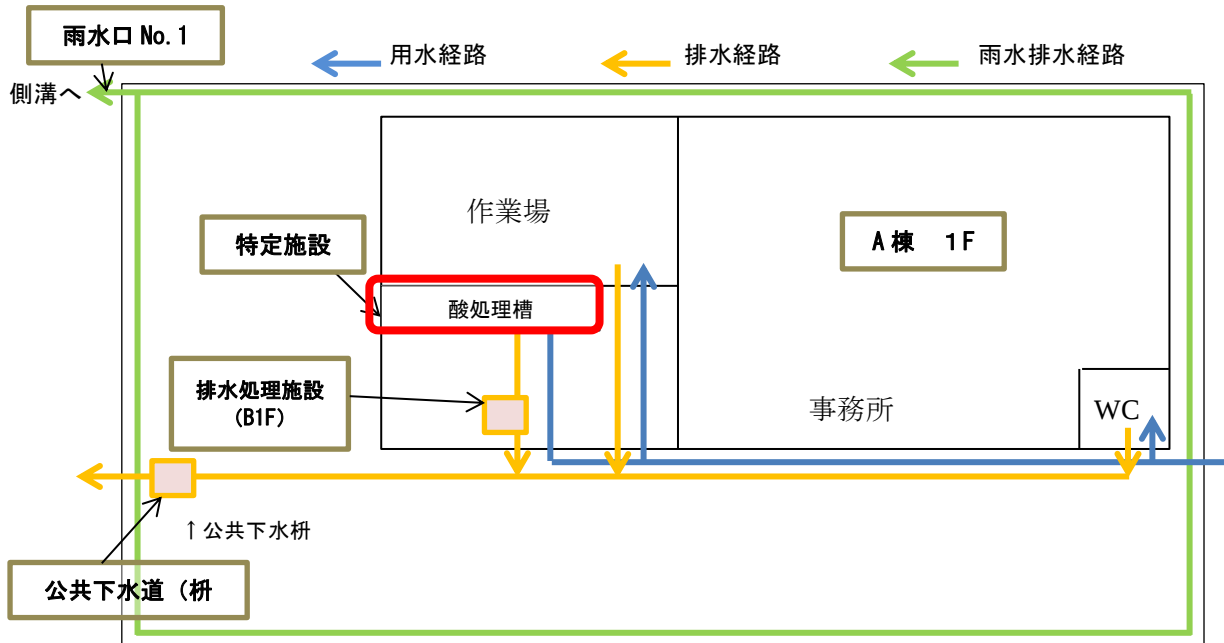
排水に係る用水及び排水の系統

	用 途 別 用 水 使 用 量 及 び 排 水 量 (日 当 た り)				
	用 途	用 水 量 m ³ /日		排 水 量 m ³ /日	
		通常	最大	通常	最大
	1 ボ イ ラ ー 用	事業場全体の用水量を 用途別に記載ください。		事業場全体の排水量を 用途別に記載ください。	
用 水 及 び 排 水 の 系 統	2 原 料 用				
	3 製品処理用及び洗浄用	10	15	0 (10)	0 (15)
	4 冷 却 用			下水道放流がある場合、 その量を外数で () 内に 記載ください。	
	5 空 調 用				
	6 そ の 他 (飲料用、雑用)	5	10	0 (5)	0 (10)
	合 計	15	25	0 (15)	0 (25)
用水の種類	種 類	用水量 (m ³ /日)		別紙 5 の排水の量と 一致します。	
		通常	最大		
	河 川 水				
	工 業 用 水				
	上 水 道	10	15		
	地 下 水	5	10		
	(循 環 水)	(5)	(5)		
	計	15	25		

添付書類の記載例

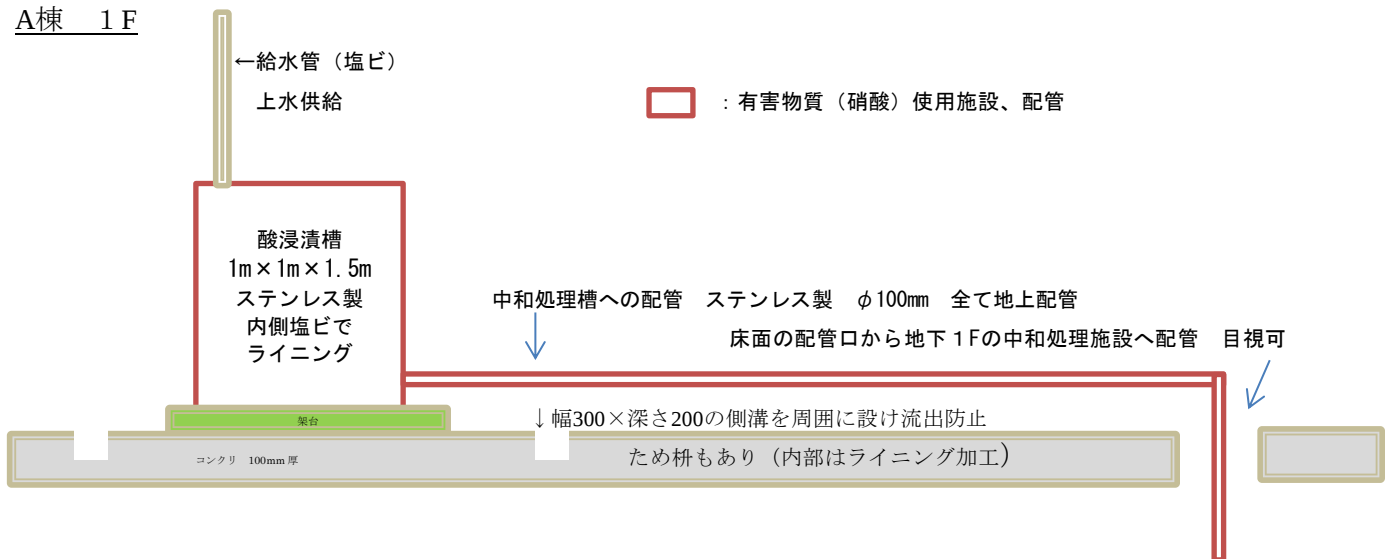
2) 工場等の敷地内の建物配置図

(特定施設等及び污水处理施設を赤色で囲み、用水経路及び排水(汚水・雨水)経路を明示すること)



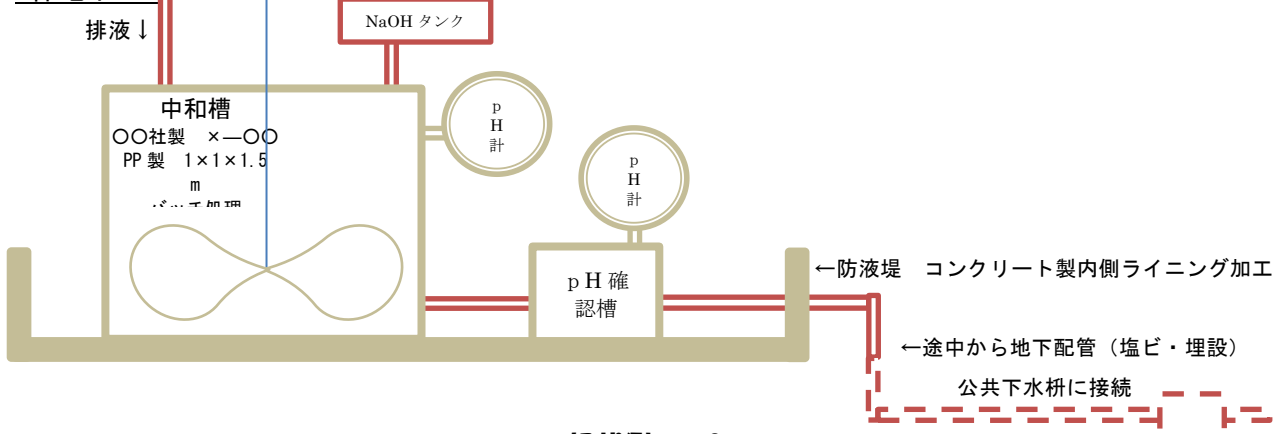
3) 特定施設の構造図 (型式、構造、主要寸法を明示、施設周辺の構造、材質、漏洩検知器の有無等も記載すること。)

A棟 1F

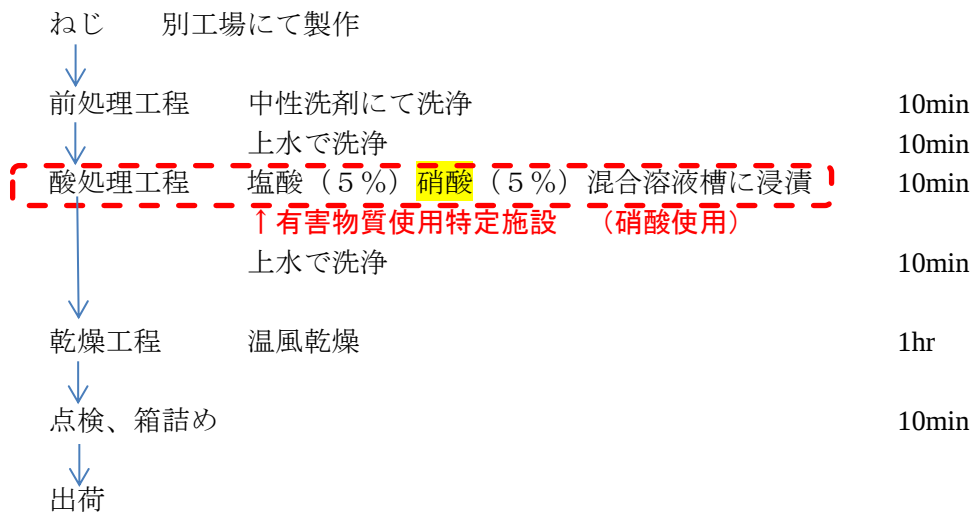


4) 排水処理施設の構造図 (型式、構造、主要寸法を明示、施設周辺の構造、材質、漏洩検知器の有無等も記載すること)

A棟地下1F



5) 作業工程図（特定施設等の使用箇所を明示し、作業工程時間を記入すること）



6) 参考事項（業種、主要製品、従業員数、担当者名、今回の届出の概要等を記入すること。）

参 考 事 項

業 種 (分類項目名)	金属製品加工業	担 当 部 署 名	大津工場 製造1課
主 要 製 品	ねじ ボルト・ナット 釘	フリガナ	オオツ ジロウ
		担 当 者 職 氏 名	総務課長 大 津 次 郎
		フリガナ	
		公害防止管理者	なし
工場又は事業場の 従業員数	7 人	工場又は事業場の 電 話 番 号	(077) 〇〇〇-××××
資 本 金	7 百万 円	本 電 話 番 号	(077) 〇〇〇-××××
敷 地 面 積	500m ²	建 物 面 積	300m ²
今回の届出 の概要	酸による表面処理施設（酸浸漬槽）の新設による届出 有害物質使用特定施設に該当する。		
下水道接続	全量下水道	一部下水道	接続なし (いずれかに○)
大津市 記 入 欄	排 水 水 域		

※ 業種欄は、日本標準産業分類の中分類に基づいて記載し、2業種以上にまたがる場合は副になるものを（）で併記してください。

その2 水濁法第5条第3項（有害物質使用）に基づく設置届出書の記載例

(表面)

特 定 施 設
~~指 定 施 設~~
汚 水 発 生 施 設
~~有害物質貯蔵指定施設~~

設 置 (使 用、変 更) 届 出 書

窓口への提出日を記入してください。

年 月 日

(宛先)

大 津 市 長

届出者 住 所

氏 名

(電話番号

)

表題及び根拠法令は該当しない事項を二重線で消してください。
不明な場合はそのまま窓口にお持ちください。

(法人にあっては、その名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地)

~~水質汚濁防止法第5条第1項、第2項又は第3項（第6条第1項若しくは第2項又は第7条）~~

~~滋賀県公害防止条例第21条第1項、第2項又は第3項（第22条又は第23条）~~

~~滋賀県琵琶湖の富栄養化の防止に関する条例第8条（第9条）~~

~~大津市生活環境の保全と増進に関する条例第40条1項、第2項又は第3項（第41条又は第42条）~~

の規定により、特定施設（~~指定施設、汚水発生施設、有害物質貯蔵指定施設~~）の設置（~~使用、変更~~）について、次のとおり届け出ます。

記入要領

工場又は事業場の名称		琵琶湖株式会社 大津工場	法人の場合は法人名称、個人の場合は屋号を記載してください。 事業場が複数ある場合は事業場名称も併記してください。
工場又は事業場の所在地		大津市御陵町〇-〇 電話番号 ×××-××××	施設を設置する事業場の所在地、電話番号を記載してください。 (可能な限り住居表示をお願いします。)
法第5条第1項、 市条例第40条第1項関係	特定施設等の種類		この範囲の記載、提出は不要です。
	有害物質使用特定施設等の該当の有無	☐ 有 ☐ 無	
	△特定施設等の構造	別紙1のとおり	
	△特定施設等の設備（有害物質使用特定施設等の場合に限る。）	別紙2のとおり	
	△特定施設等の使用の方法	別紙3のとおり	
	△汚水等の処理の方法	別紙4のとおり	
	△排出水の汚染状態及び量	別紙5のとおり	
	△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり	
第21条第2項、 法第5条第2項、 市条例第40条第2項関係	有害物質使用特定施設等の種類		この範囲の記載、提出は不要です。
	△有害物質使用特定施設等の構造	別紙7のとおり	
	△有害物質使用特定施設等の使用の方法	別紙8のとおり	
	△汚水等の処理の方法	別紙9のとおり	
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり	
	△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙11のとおり	

(裏面)

法第5第1項、 市条例第40条第1項関係	有害物質使用特定施設等又は有害物質貯蔵指定施設の別	☒ 有害物質使用特定施設 ☐ 有害物質貯蔵指定施設	該当する施設にレ印を記載ください。
	△有害物質使用特定施設等又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙12のとおり	別紙に記載ください。 できる限り図面や表を利用し、わかりやすくしてください。
	△有害物質使用特定施設等又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙13のとおり	
	△有害物質使用特定施設等又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙14のとおり	
	△施設において製造され、使用され、もしくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙15のとおり	

備考1 特定施設等の種類の欄及び有害物質使用特定施設等の種類の欄には、規則別表第1に掲げる項番号及び名称を記載すること。

- 2 有害物質使用特定施設等の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設等に該当しない場合には、別紙2を提出することを要しない。
- 3 有害物質使用特定施設等又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。
- 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
- 5 ※印の欄には、記載しないこと。
- 6 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 7 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格A列4番とすること。
- 8 氏名を記載し、押印することに代えて、署名することができる。

添付書類	1) 付近の見取り図（設置、使用の届出のみ）（周辺100メートル程度のもの） 2) 工場等の敷地内の建物配置図 （特定施設等及び污水处理施設を赤色で囲み、用水経路及び排水（污水・雨水）経路を明示すること） 3) 特定施設等の構造図（カタログ、写真でよいが、型式、構造、主要寸法を明示すること） 4) 污水等の処理施設の構造図（フローシート、設計仕様書、構造、主要寸法を明示すること） 5) 作業工程図（特定施設等の使用箇所を明示し、作業工程時間を記入すること） 6) 参考事項（業種、主要製品、従業員数、担当者名、今回の届出の概要等を記入すること。）
------	---

該当しない事項を二重線で消してください。

(別紙 1 2)

有害物質使用特定施設 ~~(有害物質貯蔵指定施設)~~ の構造

工場又は事業場における施設番号	大津工場 酸処理槽 No.1	別紙 2 の内容を記載下さい。
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	有害物質使用特定施設 65 酸又はアルカリによる表面処理施設 1基	特定施設か貯蔵施設、どちらかを記載ください。 有害物質使用特定施設の場合は種類も記載下さい。
型 式	浸漬式 (〇〇社製 CM-5)	施設の型式番号がある場合は記載ください。
構 造	ステンレス製、内部を塩化ビニールライニング (構造図は資料 3) のとおり)	施設の構造を記載ください。 詳細な構造は添付資料 3)に記載ください。
主 要 寸 法	酸浸漬槽 1m×1m×1.5m×1 槽	施設の主要寸法を記載ください。
能 力	ねじ 3,000 個/日	各施設ごとの公称能力を記載ください。 規模要件がある施設等については、その規模を記載してください。
配 置	大津工場 A 棟 1 F (資料 2) のとおり)	配置図は添付書類 2)に示してください。
床 面 及 び 周 囲	床面は厚さ 100mm のコンクリート 施設周囲には側溝を設け、流出を防止	有害物質使用特定施設の場合は、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。 防液堤等については、可能な場合には容量を記載すること。
設 置 年 月 日	年 月 日	既設のものについて記載下さい
工 事 着 手 予 定 年 月 日	H25 年 9 月 30 日	当該施設の工事着手予定年月日を記載下さい。 ※届出はこの日の 60 日前までに必要です。
工 事 完 成 予 定 年 月 日	H25 年 11 月 23 日	当該施設の工事完成予定年月日を記載下さい。
使 用 開 始 予 定 年 月 日	H25 年 12 月 1 日	当該施設の使用開始予定年月日を記載下さい。
その他参考となるべき事項		

備考 配置の欄には、当該有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

該当しない事項を二重線で消してください。

(別紙 13)

有害物質使用特定施設 ~~(有害物質貯蔵指定施設)~~ の設備

工場又は事業場における施設番号	大津工場 酸処理槽 No.1	別紙 12 の内容を記載下さい。
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	有害物質使用特定施設 65 酸又はアルカリによる表面処理施設 1基	どちらかを記載ください。 有害物質使用特定施設の場合は種類も記載下さい。
設 備	地上配管 側溝 ため枡	有害物質使用特定施設に接続する配管や周囲の構造物について記載してください。
構 造	配管 ステンレス製 側溝、ため枡 コンクリート製、厚さ 50mm	上記設備について個別に素材等を記載ください。 検知設備がある場合はその旨を記載ください。
主 要 寸 法	配管 φ 100mm×30m 側溝 幅 300mm×深さ 200mm×10m ため枡 500mm × 500mm × 400mm	上記設備について個別に寸法等を記載ください。
配 置	大津工場 A 棟 1 F (資料 2 のとおり)	配置図は添付書類 2) に示してください。 地下にある場合はその旨も記載ください。
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工 事 着 手 予 定 年 月 日	H25 年 9 月 30 日	当該施設の工事着手予定年月日を記載下さい。 ※届出はこの日の 60 日前までに必要です。
工 事 完 成 予 定 年 月 日	H25 年 11 月 23 日	当該施設の工事完成予定年月日を記載下さい。
使 用 開 始 予 定 年 月 日	H25 年 12 月 1 日	当該施設の使用開始予定年月日を記載下さい。
その他参考となるべき事項	設備の構造については資料 3) に記載	構造については添付資料 3) に記載ください。 配管については地下配管(トレンチ)、地下配管(埋設)等のケースも考えられます。 トレンチの場合はトレンチの構造等も記載ください。 有害物質を含む水が流れない場合は、構造等に関する基準が適用されないの、その旨を記載ください。

備考 配置の欄には、当該有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備の配置を記載すること。

該当しない事項を二重線で消してください。

(別紙 14)

有害物質使用特定施設 ~~(有害物質貯蔵指定施設)~~ の使用の方法

工場又は事業場における施設番号	大津工場 酸処理槽 No.1	別紙 12 の内容を記載下さい。
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	有害物質使用特定施設 65 酸又はアルカリによる表面処理施設 1基	どちらかを記載ください。 有害物質使用特定施設の場合は種類も記載下さい。
設 置 場 所	大津工場 A 棟 1 F (資料 2) のとおり)	配置図は添付書類 2) に示してください。 地下にある場合はその旨も記載ください。
操 業 の 系 統	酸処理を行う (詳細は資料 5) のとおり)	添付資料 5) に操業の系統 (フロー図等) を記載ください。 特定施設の使用箇所、使用する有害物質がわかるように明記ください。
使 用 時 間 間 隔	週に 2, 3 日 時間帯は不規則	1 日のうち施設を使用する時間帯を記載ください。
1 日当たりの使用時間	4 時間	1 日あたりの使用時間を記載ください。
使 用 の 季 節 的 変 動	なし	使用時間、方法に季節変動がある場合は記載ください。
原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び 1 日当たりの使用量 (有害物質使用特定施設の場合に限る。)	前処理工程: △△ (1 日××L) 酸処理工程: 塩酸 硝酸 (各 5%溶液) 1 ヶ月ごとに全量交換 (1.5m3)	施設で使用する原料、薬品等の種類、使用方法、1 日の使用料を記載ください。有害物質に加え、それ以外の物質も記載ください。
貯蔵する有害物質の種類 (有害物質貯蔵指定施設の場合に限る。)	—	この欄の記載は不要です。
その他参考となるべき事項	全量交換後の廃液については中和処理後、公共下水道に放流。	必要に応じて、廃液等の処分状況 (頻度、方法等) を記載ください。

備考 有害物質貯蔵指定施設の場合には、使用時間間隔の欄及び 1 日当たりの使用時間の欄には、それぞれ当該施設への有害物質を含む水の供給時における当該施設の使用時間間隔及び使用時間を記載すること。

該当しない事項を二重線で消してください。

(別紙 15)

用水及び排水の系統 ~~(搬入及び搬出の系統)~~

施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統（有害物質使用特定施設の場合に限る。）又は貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統（有害物質貯蔵指定施設の場合に限る。）	上水から不足分を供給（1L/日） 月1度の全量交換時には1.5m³を供給。 特定施設 硝酸は手動ポンプにて添加（配管なし） ステンレス配管 （架台上、目視可）をとおり、中和処理施設に移送 中和処理施設 地下1Fの床上（シール有）、PP槽、防液堤、漏洩検知施設あり 塩ビ配管 地下埋設 公共下水枡 1 生活系排水 公共下水道で放流			有害物質使用特定施設： 用水及び排水の系統図を記載。（必要に応じて別図に記載すること。）有害物質に係る用水・排水については、色等を分けて一般の排水と識別できるように記載すること。 ◎特に、どのような設備（配管、排水溝）を通して有害物質を含む水が移動するかがわかるように記載すること。 ◎配管等は地下なのか、地上なのか、地下であれば埋設なのか、トレンチなのかなど、できるだけ詳細に記載すること。 ◎漏洩検知設備がある場合はその旨も記載。																	
用途別用水使用量（通常）	<table border="1"> <thead> <tr> <th>用 途</th> <th>使 用 水</th> <th>用水使用量 (m³/日)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>酸処理槽</td> <td>上水</td> <td>0 ※槽内溶液 交換時は1.5</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td> </td> <td>0 (1.5)</td> </tr> </tbody> </table>	用 途	使 用 水	用水使用量 (m ³ /日)	酸処理槽	上水	0 ※槽内溶液 交換時は1.5										合計		0 (1.5)	用水の用途、使用水の種別（上水、地下水等）、用水の通常時の使用量を記載ください。	
用 途	使 用 水	用水使用量 (m ³ /日)																			
酸処理槽	上水	0 ※槽内溶液 交換時は1.5																			
合計		0 (1.5)																			

備考 有害物質貯蔵指定施設の場合には、用途別用水使用量の欄には記載しないこと。

※添付書類については、その1の記載例を参照ください。

その3 水濁法第5条第3項（有害物質貯蔵指定施設）に基づく設置届出書の記載例

(表面)

~~特 定 施 設~~
~~指 定 施 設~~
~~汚 水 発 生 施 設~~
有害物質貯蔵指定施設

設 置 (使 用、変 更) 届 出 書

窓口への提出日を記入してください。

年 月 日

(宛先)

大 津 市 長

届出者 住 所

氏 名

(電話番号

)

表題及び根拠法令は該当しない事項を二重線で消してください。
不明な場合はそのまま窓口にお持ちください。

(法人にあっては、その名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地)

~~水質汚濁防止法第5条第1項、第2項又は第3項（第6条第1項若しくは第2項又は第7条）~~

~~滋賀県公害防止条例第21条第1項、第2項又は第3項（第22条又は第23条）~~

~~滋賀県琵琶湖の富栄養化の防止に関する条例第8条（第9条）~~

~~大津市生活環境の保全と増進に関する条例第40条1項、第2項又は第3項（第41条又は第42条）~~

の規定により、~~特定施設（指定施設、汚水発生施設、有害物質貯蔵指定施設）の設置（使用、変更）~~について、次のとおり届け出ます。

記入要領

工場又は事業場の名称		琵琶湖株式会社 大津工場	法人の場合は法人名称、個人の場合は屋号を記載してください。 事業場が複数ある場合は事業場名称も併記してください。
工場又は事業場の所在地		大津市御陵町〇-〇 電話番号 ×××-××××	施設を設置する事業場の所在地、電話番号を記載してください。 (可能な限り住居表示をお願いします。)
法第5条第1項、 市条例第40条第1項関係	特定施設等の種類		この範囲の記載、提出は不要です。
	有害物質使用特定施設等の該当の有無	有 ☐ 無	
	△特定施設等の構造	別紙1のとおり	
	△特定施設等の設備（有害物質使用特定施設等の場合に限る。）	別紙2のとおり	
	△特定施設等の使用の方法	別紙3のとおり	
	△汚水等の処理の方法	別紙4のとおり	
	△排出水の汚染状態及び量	別紙5のとおり	
	△排水水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり	
第21条第2項、 法第5条第2項、 市条例第40条第2項関係	有害物質使用特定施設等の種類		この範囲の記載、提出は不要です。
	△有害物質使用特定施設等の構造	別紙7のとおり	
	△有害物質使用特定施設等の使用の方法	別紙8のとおり	
	△汚水等の処理の方法	別紙9のとおり	
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり	
	△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙11のとおり	

(裏面)

法第5第3項、 市条例第40条第3項関係	有害物質使用特定施設等又は有害物質貯蔵指定施設の別	☐ 有害物質使用特定施設 ☒ 有害物質貯蔵指定施設	該当する施設にレ印を記載ください。
	△有害物質使用特定施設等又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙12のとおり	別紙に記載ください。 できる限り図面や表を利用し、わかりやすくしてください。
	△有害物質使用特定施設等又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙13のとおり	
	△有害物質使用特定施設等又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙14のとおり	
	△施設において製造され、使用され、もしくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙15のとおり	

- 備考1 特定施設等の種類の欄及び有害物質使用特定施設等の種類の欄には、規則別表第1に掲げる項番号及び名称を記載すること。
- 2 有害物質使用特定施設等の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設等に該当しない場合には、別紙2を提出することを要しない。
- 3 有害物質使用特定施設等又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。
- 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
- 5 ※印の欄には、記載しないこと。
- 6 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 7 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格A列4番とすること。
- 8 氏名を記載し、押印することに代えて、署名することができる。

添付書類	1)付近の見取り図（設置、使用の届出のみ）（周辺100メートル程度のもの） 2)工場等の敷地内の建物配置図 （特定施設等及び污水处理施設を赤色で囲み、用水経路及び排水（污水・雨水）経路を明示すること） 3)特定施設等の構造図（カタログ、写真でよいが、型式、構造、主要寸法を明示すること） 4)污水等の処理施設の構造図（フローシート、設計仕様書、構造、主要寸法を明示すること） 5)作業工程図（特定施設等の使用箇所を明示し、作業工程時間を記入すること） 6)参考事項（業種、主要製品、従業員数、担当者名、今回の届出の概要等を記入すること。）
------	---

該当しない事項を二重線で消してください。

(別紙 1 2)

~~有害物質使用特定施設~~ (有害物質貯蔵指定施設) の構造

工場又は事業場における施設番号	大津工場 原料タンク 1 号	施設の名称を記載ください。
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	有害物質貯蔵指定施設	特定施設か貯蔵施設、どちらかを記載ください。
型 式	自社設計 硝酸タンク (円筒形)	施設の型式番号がある場合は記載ください。 自社設計の場合は自社設計と記載ください。
構 造	ステンレス製 (構造図は資料 3) のとおり)	施設の構造を記載ください。 図面等は添付資料 3) に示してください。
主 要 寸 法	内径 2.5m φ、高さ 1m	施設の主要寸法を記載ください。
能 力	有効容量 3m ³	有効容量を記載ください。
配 置	大津工場 A 棟南側 (地上) (資料 2) のとおり)	配置図は添付書類 2) に示してください。
床 面 及 び 周 囲	床面：コンクリート (100mm) + FRP ライニング 周囲：エポキシ樹脂塗装の防液堤 (貯留容量：5m ³) 漏洩センサー有。	有害物質使用特定施設の場合は、 施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。 防液堤等については、可能な場合には容量を記載すること。
設 置 年 月 日	年 月 日	既設のものについて記載下さい
工 事 着 手 予 定 年 月 日	H25 年 9 月 30 日	当該施設の工事着手予定年月日を記載下さい。 ※届出はこの日の 60 日前までに必要です。
工 事 完 成 予 定 年 月 日	H25 年 11 月 23 日	当該施設の工事完成予定年月日を記載下さい。
使 用 開 始 予 定 年 月 日	H25 年 12 月 1 日	当該施設の使用開始予定年月日を記載下さい。
その他参考となるべき事項		

備考 配置の欄には、当該有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

該当しない事項を二重線で消してください。

(別紙 13)

~~有害物質使用特定施設~~ (有害物質貯蔵指定施設) の設備

工場又は事業場における施設番号	大津工場 原料タンク 1号	別紙 12 の内容を記載下さい。
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	有害物質貯蔵指定施設	特定施設か貯蔵施設、どちらかを記載ください。
設 備	配管 (地上) バルブ フランジ ポンプ 計量タンク	施設に接続する配管や周囲の構造物について記載してください。 配管については地上、地下を記載ください。
構 造	配管：ステンレス製 バルブ：ステンレス製 フランジ：シリコンゴム製 ポンプ：ステンレス製 計量タンク：ステンレス製	上記設備について個別に素材等を記載ください。検知設備がある場合はその旨を記載ください。 地下配管 (トレンチ) の場合はトレンチの構造も記載ください。
主 要 寸 法	配管：φ100mm×10m バルブ：6 か所 フランジ：6 か所 ポンプ：1 箇所 計量タンク：内径 2.5m φ×1m	上記設備について個別に寸法等を記載ください。
配 置	大津工場 A 棟南側 (1F) (資料 2) のとおり) 配管、バルブ、フランジ：地上 (架空) ポンプ：地上 計量タンク：地上	配置図は添付書類 2) に示してください。 配管の場合は地上、地下 (トレンチ or 埋設) を記載して下さい。
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工 事 着 手 予 定 年 月 日	H25 年 9 月 30 日	当該施設の工事着手予定年月日を記載下さい。 ※届出はこの日の 60 日前までに必要です。
工 事 完 成 予 定 年 月 日	H25 年 11 月 23 日	当該施設の工事完成予定年月日を記載下さい。
使 用 開 始 予 定 年 月 日	H25 年 12 月 1 日	当該施設の使用開始予定年月日を記載下さい。
その他参考となるべき事項		有害物質を含む水が流れない場合は、構造等に関する基準が適用されないのので、その旨を記載ください。

備考 配置の欄には、当該有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備の配置を記載すること。

該当しない事項を二重線で消してください。

(別紙 1 4)

~~有害物質使用特定施設~~ (有害物質貯蔵指定施設) の使用の方法

工場又は事業場における施設番号	大津工場 原料タンク 1 号	別紙 1 2 の内容を記載下さい。
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	有害物質貯蔵指定施設	特定施設か貯蔵施設、どちらかを記載ください。
設 置 場 所	大津工場 A 棟南側 (地上) (資料 2) のとおり)	配置図は添付書類 2) に示してください。
操 業 の 系 統	資料 5) のとおり	添付資料 5) に操業の系統 (フロー図等) を記載ください。 貯蔵指定施設の使用箇所がわかるように明記ください。
使 用 時 間 間 隔	8:00～17:00	1 日のうち施設を使用する時間帯を記載ください。
1 日 当 た り の 使 用 時 間	(3 時間毎 1 時間使用) 3 時間/日	1 日あたりの使用時間を記載ください。 間欠使用の場合等もわかるように記載ください。
使 用 の 季 節 的 変 動	なし	使用時間、方法に季節変動がある場合は記載ください。
原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び 1 日当たりの使用量 (有害物質使用特定施設の場合に限る。)	—	この欄の記載は不要です。
貯蔵する有害物質の種類 (有害物質貯蔵指定施設の場合に限る。)	硝酸 (50%)	有害物質貯蔵指定施設において、貯蔵使用する原料又は薬品の種類を記載ください。
その他参考となるべき事項	硝酸は、週に 1 回 2.5m ³ をタンクへ補充する。	必要に応じて、貯蔵施設を使用した作業状況 (頻度、方法等) を記載ください。

備考 有害物質貯蔵指定施設の場合には、使用時間間隔の欄及び 1 日当たりの使用時間の欄には、それぞれ当該施設への有害物質を含む水の供給時における当該施設の使用時間間隔及び使用時間を記載すること。

該当しない事項を二重線で消してください。

(別紙 15)

~~用水及び排水の系統~~ (搬入及び搬出の系統)

施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統（有害物質使用特定施設の場合に限る。）又は貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統（有害物質貯蔵指定施設の場合に限る。）	タンクローリー 受入口に接続、受け入れ。 受け入れ口には防液堤あり。 ↓ 原料タンク 1号 満水警報付属。 ↓ ステンレス配管（架空） 計量タンク 報 満水警報付属 ↓ ステンレス配管（架空） 有害物質使用特定施設 65 表面処理 ↓ ステンレス配管（架空） 中和処理施設 地下1Fの床上（シール有）、PP槽、防液堤、漏洩検知施設あり ↓ 塩ビ配管（地下埋設） 公共下水枡 1 ↓ 公共下水道で放流			該当する施設の搬入及び搬出の系統を記載ください。 ◎特に、どのような設備（配管、排水溝）を通して有害物質を含む水が移動するかがわかるように記載すること。 ◎配管等は地下なのか、地上なのか、地下であれば埋設なのか、トレンチなのかなど、できるだけ詳細に記載すること。 ◎漏洩検知設備がある場合はその旨も記載。	
用途別用水使用量（通常）	用 途	使 用 水	用水使用量 (m³/日)	この欄は記入不要です。	

備考 有害物質貯蔵指定施設の場合には、用途別用水使用量の欄には記載しないこと。

※添付書類については、その1の記載例を参照ください。

変更届出書(有害物質使用特定施設の場合)の記載例

(表面)

特 定 施 設
指 定 施 設
汚 水 発 生 施 設
有害物質貯蔵指定施設

設 置 (使 用、変 更) 届 出 書

窓口への提出日を記入してください。

年 月 日

(宛先)

大 津 市 長

届出者 住 所

氏 名

(電話番号

)

表題及び根拠法令は該当しない事項を二重線で消してください。
不明な場合はそのまま窓口にお持ちください。

(法人にあっては、その名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地)

~~水質汚濁防止法第5条第1項、第2項又は第3項(第6条第1項若しくは第2項又は第7条)~~

~~滋賀県公害防止条例第21条第1項、第2項又は第3項(第22条又は第23条)~~

~~滋賀県琵琶湖の富栄養化の防止に関する条例第8条(第9条)~~

~~大津市生活環境の保全と増進に関する条例第40条1項、第2項又は第3項(第41条又は第42条)~~

の規定により、特定施設 ~~(指定施設、汚水発生施設、有害物質貯蔵指定施設)~~ の設置(使用、変更)について、次のとおり届け出ます。

記入要領

工場又は事業場の名称		琵琶湖株式会社 大津店	法人の場合は法人名称、個人の場合は屋号を記載してください。 事業場が複数ある場合は事業場名称も併記してください。
工場又は事業場の所在地		大津市御陵町〇-〇 電話番号 ×××-××××	施設を設置する事業場の所在地、電話番号を記載してください。 (可能な限り住居表示をお願いします。)
法第5条第1項、 県公害防止条例第21条第1項	特定施設等の種類	65 1 基	p. に記載されている特定施設等の号記号名称及び基数を記載ください。多数の場合は別紙にまとめてください。
	有害物質使用特定施設等の該当の有無	☐ 有 ☐ 無	該当する欄にチェックをしてください。
	△特定施設等の構造	別紙1のとおり	有害物質使用特定施設の構造変更の場合、別紙1-6に記載してください。 有害物質貯蔵指定施設の場合、裏面のチェック及び別紙12-15に記載下さい。
	△特定施設等の設備(有害物質使用特定施設等の場合に限る。)	別紙2のとおり	
	△特定施設等の使用の方法	別紙3のとおり	
	△汚水等の処理の方法	別紙4のとおり	
	△排出水の汚染状態及び量	別紙5のとおり	
	△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり	
第21条第2項、 法第5条第2項、 市条例第40条第2項 関	有害物質使用特定施設等の種類		この範囲の記載は不要です。
	△有害物質使用特定施設等の構造	別紙7のとおり	
	△有害物質使用特定施設等の使用の方法	別紙8のとおり	
	△汚水等の処理の方法	別紙9のとおり	
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり	
	△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙11のとおり	

(裏面) 省略

(別紙 1)

特定施設の構造

変更前と変更後の欄を作成し、それぞれ内容を記載ください。

【変更前】

【変更後】

工場又は事業場における施設番号	大津工場 酸処理槽 No.1	変更なし
特定施設等番号及び名称	65 酸又はアルカリによる表面処理施設 1 基 (有害物質使用)	変更なし
型 式	浸漬式 (〇〇社製 CM-5)	変更なし
構 造	ステンレス製、内部を塩化ビニールライニング (構造図は資料 3) のとおり)	変更なし
主 要 寸 法	酸浸漬槽 1m×1m×1.5m×1 槽	変更なし
能 力	ねじ 3,000 個/日	ねじ 5,000 個/日
配 置	大津工場 A 棟 1 F (資料 2) のとおり)	変更なし
設 置 年 月 日	H25 年 12 月 1 日	年 月 日
工 事 着 手 予 定 年 月 日		H26 年 3 月 1 日
工 事 完 成 予 定 年 月 日		H26 年 3 月 1 日
使 用 開 始 予 定 年 月 日		H26 年 3 月 1 日
その他参考となるべき事項	床面は厚さ 100mm のコンクリート 施設周囲には側溝を設け、流出を防止	変更なし
※市事業場 施設番号		

備考 1 配置の欄には、当該特定施設等及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

2 その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設等が有害物質使用特定施設等に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

変更前と変更後の欄を作成し、それぞれ内容を記載ください。

(別紙3)

特定施設使用の方法

【変更前】

【変更後】

工場又は事業場における施設番号		大津工場 酸処理槽 No.1		変更なし	
特定施設項番号及び名称		65 酸又はアルカリによる表面処理施設 1 基 (有害物質使用)			
設 置 場 所		大津工場 A 棟 1 F (資料 2) のとおり)			
操 業 の 系 統		酸処理を行う (詳細は資料 5) のとおり)			
使 用 時 間 間 隔		週に 2, 3 日 時間帯は不規則			
1 日 当 た り の 使 用 時 間		4 時間			
使 用 の 季 節 的 変 動		なし			
原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び 1 日 当 た り の 使 用 量		前処理工程：△△ (1 日××L) 酸処理工程： 塩酸 硝酸 (各 5%溶液) 1 ヶ月ごとに全量交換 (1.5m3)		前処理工程：変更なし 酸処理工程： 塩酸 硝酸 (各 10%溶液) その他変更なし	
汚水等の汚染状態	種 類 ・ 項 目	通 常	最 大	変更なし	
	pH	3-4	2		
	BOD (mg/L)	50	70		
	COD (mg/L)	50	70		
	SS (mg/L)	10	70		
	油分 (mg/L)	10	70		
汚 水 等 の 量 (m ³ /日)		通 常	最 大	通 常	最 大
		なし	1.5	変更なし	
その他参考となるべき事項		硝酸使用 変更の概要を記載ください。		施設の使用方法的変更 ・ 処理量増加 ・ 使用薬品濃度の変更 有害物質として引き続き硝酸を使用	

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

※別紙 4 以降も同様に【変更前】【変更後】がわかるよう左右 2 段に記載してください。
 ※添付書類についても、変更前後の違いがわかるように記載ください。
 ※有害物質貯蔵指定施設についても同様に【変更前】【変更後】がわかるよう左右 2 段に記載してください。